

「子どもの育ちを支える運動」の目指すもの

運動が目指すところは、子どもを中心に、保育者を含む周りの大人、その大人を支える地域社会、そして社会すべてが子どもを見守る「すべての人が子どもの育ちを支える社会」の実現です。

子どもを中心に、すべての人が子どもを見守りながら支えていく社会が実現することを願います。



私たちに今できること

子どもの育ちをみんなが支える社会の実現のために
私たちにできることは？



今、私たちが行っている保育を見つめ直す事ではないでしょうか



子どもの心の育ちを支える保育を！！

- ・これまで「子どもの自己肯定感を育む保育実践」に取り組んで来ました。今年度は、子どもの心の育ちを中心に、より実効性のある保育実践に取り組んでいきます。
- ・私たちは子どもの心の育ちを支え、みんなが笑顔あふれる社会を目指します。

保育園から社会へ

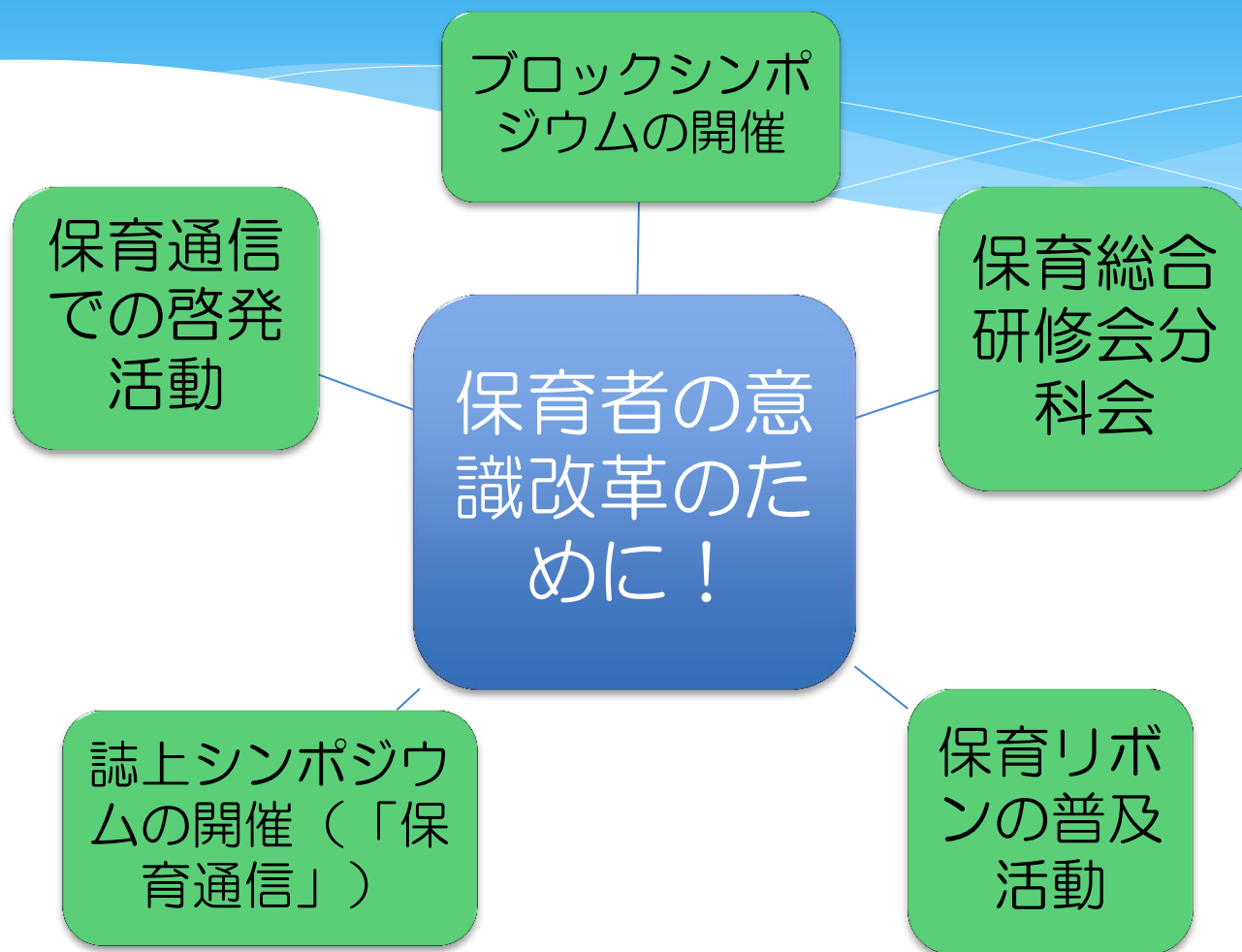
● 保育園での実践

● 会員園から地域への広がり

● すべての人が子どもの育ちを支える社会の実現へ

子どもの育ちを支える社会の実現のためには、まず、私たち保育者が「子どもの育ちを支える」ことが重要です。そして、その活動を地域へ、そして社会へ広げていきましょう。

運動を推進していくために行っていること



この他に、食育活動・自然体験活動の推進もしています。